

かれこのおおぐへにののかみのみあにおもそがみ まししかれ みなみには おおぐへにぬしのかみだ まり

故、此大國主神之兄弟八十神、坐ぎ。然ども、皆國者、於大國主神、避まつ

りき。所以避者、其八十神各、稻羽之八上比賣を欲婚之心有て、

共行稻羽時 に、於大穴牟遲神、負袋、爲從者、率往ぎ。於是、

到氣多之前時 に、裸菟伏也。爾、八十神、謂其菟云、汝將爲者、

浴此海鹽、當風吹而、伏高山尾上。故、其菟、從八十神之教而伏き。

爾、其鹽隨乾、其身の皮悉に風見吹拆故に、痛苦泣伏者、最後之來

大穴牟遲神、見其菟言 たまう。何由汝泣伏。菟答言。僕在淤岐嶋、

雖欲度此地、無度因故 に、欺海和邇言 けりへ。

吾與汝競欲計族之多小。故、汝者、隨其族在悉率來、

自此嶋至于氣多前、皆列伏度。爾、吾踏其上走乍讀度。於是、

知與吾族孰多。如此言者、見欺而列伏之時に、吾踏其上讀度來

て、今將下地時 に、吾云汝者我見欺言竟、即、伏最端和邇、捕我

これによりてなまされしかば、ままたちていましてやそがみのみとち

て、悉剥我衣服 き。因此泣患者、先行 八十神之命以て、

浴海鹽當風伏 と誨告 き。故、爲如教者、我身悉傷 つ。於是、

大穴牟遲神、教告其菟。今急、往此水門、以水洗汝身、即、

其水門之蒲黃 敷散而、輾轉其上者、汝身如本膚必差

故爲如教、其身如本也。此稻羽之素菟者也。於今者謂菟神也。

故其菟曰大穴牟遲神、此八十神者必不得八上比賣。雖負袋、

汝命獲之。

於是、八上比賣、答八十神言。吾者、不聞汝等之言、將嫁大穴牟遲神とい

故、爾、八十神怒、欲殺大穴牟遲神共議而、至伯伎國之手間山本、云。

赤猪在此山。故、和禮共追下者、汝待取。若不待取者、必將殺汝

云、似猪大石而以火燒、轉落 き。爾追下り、取時に、即、於其石、

所燒著而死 たまいき。

そのみおやのみことなまられえて あめにまのほりて かんむすびのみかにもうしたまひきま すなわち

其御祖命哭患而、參上于天、請神產巢日之命時、乃、

遣討虫貝比賣與蛤貝比賣、令作活。爾、討虫貝比賣岐佐宜集而、

蛤貝比賣持水而、塗母乳汁者、成麗壯夫而 出遊行。

於是、八十神見、且欺、率入山而、切伏大樹、茹矢、打立其木、

令人其中、即、打離其冰目矢而、拷殺也。爾亦、其御祖命、哭乍求者、

得見、即、拆其木而、取出活、告其子言。汝有此間者、遂、

爲八十神所滅。乃、於木國之大屋毘古神之御所、速遣 たまいき。爾、

八十神覺追臻而、矢刺之時に、自木俣漏逃而去たまいき。

御祖命告子云。須佐能男命所坐之根堅洲國に可參向。

必其大神議也。故、隨詔命而、參到須佐之男命之御所者、

其女須勢理毘賣出見、爲目合而相婚、還入て、白其父 き。

言甚麗神來。爾、其大神出見而、此者、謂之葦原色許男と告たまいて、

やがてよびけれ、そのみおむらやにねしめたまひき こと 其のみにせりひめのみこと

即喚入而、令寢其蛇室。於是、其妻須勢理毘賣命、以蛇比禮、

授其夫云。其蛇將咋、以此比禮、三舉打撥 たまひき。

故如教者、蛇自靜故、平寢出之。亦來日夜者、

入吳公與蜂室、を、且授吳公蜂之比禮、教如先故、平出之。

亦鳴鏑射入大野之中、令採其矢。故、入其野時、

即以火迴燒其野。於是不知所出之間、鼠來云。内者富良富良。

外者須夫須夫。如此言故、蹈其處者、落隱入之間、火者燒過。爾、

其鼠咋持其鳴鏑、出來而奉也。其矢羽者、其鼠子等皆喫也。

於是、其妻須世理毘賣者、持喪具而 哭來。其父大神者、思既死訖、

出立其野、爾 持其矢以奉之時、率入家而、喚入八田大室、

令取其頭之風。故爾 見其頭者、吳公多在。

於是其妻、以牟久木實與赤土授其夫 故、咋破其木實、含赤土、

唾出者、其大神、以爲昨破與公、唾出而とおもおして、於心思愛而、寢

ましき。爾、握其大神之髮、其室每椽結著而、五百引石、取塞其室戸、

負其妻須世理毘賣、其大神之生大刀與生弓矢及其天詔琴を即取持而、

逃出之時に、其天詔琴 拂樹 而地動鳴き。故、其所寢 大神聞驚而、

引仆其室。然ども、解結椽髮之間 に、遠逃 たまいき。故爾、

追至黄泉比良坂いでまして、遙望、呼謂大穴牟遲神曰 わく。

其汝所持之生大刀生弓矢以而、汝庶兄弟者、追伏坂之御尾、

亦追撥河之瀬而、意禮爲大國主神、亦爲宇都志國玉神而、

其我之女須世理毘賣爲嫡妻而、於宇迦能山之山本、於底津石根宮柱布刀斯理、

於高天原水椽多迦斯理而、居是奴也。故持其大刀弓、追避其八十神之時、

每坂御尾追伏、而始作國也。